

## **昇竜洞**

### **昇竜洞を探検する**

1963 年に発見されたこの石灰岩洞窟は、沖永良部島の数多くの洞窟の中では最も大きく、国中の洞窟愛好家を誘い寄せています。洞穴が 3.5 キロメートルにわたって伸びる昇竜洞は、日本で 2 番目に長い洞窟です。洞窟の高さは 20 メートルから 1m あまりまで様々なので、通路の一部では身をかがめて通らなくてはなりません。

### **鍾乳石とフローストーン**

およそ 30 万個の鍾乳石を擁する昇竜洞は、日本有数の見事な自然造形の例であり、奄美群島国立公園の重要な一部です。さらに、昇竜洞には日本最大の「フローストーン」という流水によって鉱物質の層が堆積することで生じる岩状の物質があります。洞窟内の石灰岩の大部分は変色しておらず、光を反射すると白く輝きます。通路沿いの数か所ではカラフルな照明が洞窟内の景観に変化を与えています。

### **進化する環境**

石灰岩などの鉱物質を含む水が今でも洞窟のほぼ全域に流れているため、昇竜洞はゆっくりと変化し成長し続けています。昇竜洞の鍾乳石は毎年およそ 0.3 ミリメートルずつ成長します。石灰岩の損傷と変色を防ぐため、鍾乳石には手を触れないでください。

### **営業時間と料金**

洞窟の営業時間は午前 9 時から午後 5 時までで、最終入洞時刻は午後 4 時 30 分です。料金は大人 1,100 円、児童・生徒（6～18 歳）は 550 円、幼児（4～5 歳）は 220 円です。